

南部忠平杯第37回くらし女子駅伝競走大会
第42回日本海駅伝競走大会
新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン
(第1版)

2022年7月22日現在

【1】大会中止の判断基準

下記の1項目でも当てはまる事態が生じた場合、主催者で協議をしたうえで開催可否の決定を行う。

- ①緊急事態宣言が発令された場合
- ②不要不急の外出自粛が全国的に要請された場合
- ③都道府県をまたぐ移動の自粛が全国的に要請された場合
- ④全国的に学校部活動が認められない場合
- ⑤鳥取県の非常事態宣言（県独自）が発令された場合
- ⑥新型コロナウイルス感染症に関する診療体制が整わない場合
- ⑦全国の感染状況を勘案し、大会に関係する選手やスタッフ、応援者、地域住民の安全確保が困難と予想される場合
- ⑧開催地を所管する保健所と連携し、コロナウイルス感染状況から開催ができないと判断された場合
- ⑨その他大会を中止せざるを得ない事由が発生した場合

【2】参加資格

大会3週間前（9月18日以降）に選手、監督及びチーム関係者が「感染者」、「濃厚接触者」、「感染疑い者」となった場合には、次のとおり対応すること。

①感染者「9月18日（日）以降」

- ・PCR検査／抗原検査において「陽性」反応があった場合、当該者の出場を認めない

②濃厚接触者「9月24日（土）まで」

- ・保健所から濃厚接触者と認められた場合、14日間にわたり健康状態を観察する期間を経過し、症状が出ていない当該者の出場を認める

③濃厚接触者「9月24日（土）以降」

- ・保健所から濃厚接触者と認められ場合、当該者の出場を認めない

④感染疑い者「9月18日（日）以降」

- ・感染疑い症状（発熱、咳、咽頭痛、息切れ、全身倦怠感、下痢、味覚障害等）が発症した場合には、インフルエンザ等の新型コロナウイルス感染症以外の感染症リスクも考慮し、原則として当該者の出場を認めない

※ただし、次の（1）及び（2）の両方の条件を満たしている場合、大会への出場を認める

（1）感染疑い症状の発症後から少なくとも8日が経過している（発症日を0日として8日間のこと）

（2）薬剤を服用していない状態で、解熱後及び症状消失後、少なくとも3日が経過している（解熱日・症状消失日を0日として3日間のこと）

※選手、監督及びチーム関係者が「感染者」、「濃厚接触者」、「感染疑い者」となった段階で速やかに大会事務局まで連絡すること

※提出された個人情報、大会主催者が保健所や医療機関などの第三者へ情報を提供する場合があります。

【3】体調管理

原則、各高校で選手、監督及びチーム関係者の体調管理は十分に行うこと

①大会1週間前「10月1日（土）～8日（土）」

・エントリー選手、監督、コーチ等は毎日の検温等の健康観察を行い「体調管理チェックシート」を記入し、監督会議の受付時に提出すること

②大会当日「10月9日（日）」

・エントリー選手、監督、コーチ等は大会当日朝の検温等の健康観察を行い「体調管理チェックシート」を当日受付（倉吉市営陸上競技場内）に提出し、出場可否の最終判断を受けること

③大会終了後「10月23日（日）まで」

・大会終了後2週間は検温等を行い、健康観察を継続し「体調管理チェックシート」に記入する※万一、新型コロナウイルス感染症の感染が確認された場合は、担当保健所の指導に従うとともに、大会事務局に報告すること

【4】会場内での感染対策

・倉吉市営陸上競技場の入口に非接触型体表温測定サーモグラフィを設置し、通行者全員の体温を測定する

※測定にて体温が37.5℃を超える場合、再度、その場で個別に再測定し、発熱が再度確認された場合は入場を認めないことがある

・競技場や中継所など各所に設置している消毒液を使用し感染防止に努めること

・来場するすべての人は、常時マスクを着用すること

※なお、出場選手は、競技中（レース、ウォーミングアップ）においては、その限りではない（各中継所待機エリアはマスクを着用すること）

・競技会場内にはゴミ箱は設置しないため、ごみは各自持ち帰るようにすること

・常時、身体的距離（概ね2m以上）を確保することを意識すること

・飲食については、競技場、体育館、中継所、待機所以外で行わず、周囲の人とできる限り2mを目安に距離を空けて対面を避け、会話は控えめにし、咳エチケットを徹底すること

【5】式典

・開会式は実施しない

・閉会式は実施せず、高校総合の部、県内高校の部の優勝～3位の伝達のみを行う

【6】 宿泊

- ・ 宿泊は、大会前日の10月8日（土）の1泊を基本とし、極力減らすようにすること
- ・ 宿泊施設の斡旋が必要な場合は、JTB鳥取支店に直接申し込む
- ・ 食事は間隔に余裕を持った席割りとし、対面にならないよう配慮し注意する
- ・ 大浴場は密にならないよう注意し、入浴時間も確認すること
- ・ 観光や外食など、練習以外での外出は控え、移動は極力、チームバスやタクシーを使用すること

【7】 競技注意事項

① スタートや中継所での対応

- ・ スタート前は極力、密にならないよう注意した上で、審判員の指示に従う
- ・ 各区間スタート直前まではマスクを着用すること
- ・ 密を防ぐためにアップ会場や中継所の役員は最小限に留め。

② 大会当日の選手輸送

- ・ 各区間の移動は、主催者が手配した選手輸送バスで行う
- ・ スタジアムへ入場時に検温し、バス乗降の際は設置の消毒液で必ず手を消毒したうえで、会話を控え、マスク着用は義務とする

【8】 応援

① 倉吉市営陸上競技場

- ・ 選手、監督、コーチ等のチーム関係者、主催者、運営スタッフのみの入場を認め、一般開放は行わない

② 沿道での応援

- ・ 新型コロナウイルスの感染防止対策のため沿道での応援は自粛をお願いする

【9】 新型コロナウイルスに関連する個人情報の取り扱い

- ① 本大会で取得した個人情報は、競技運営目的以外に感染症予防対策目的に使用する場合がある
- ② 本大会で取得した個人情報は、大会主催者が保健所や医療機関などの第三者へ情報を提供する場合がある
- ③ 本大会で取得した個人情報は、大会終了後一ヶ月間保管する
- ④ 保管期間を過ぎた当該情報は、大会主催者が責任を持って適正かつ速やかに廃棄する

【10】 免責事項

大会主催者は出場選手、出場校関係者、競技運営関係者の新型コロナウイルス感染に対するいかなる責任も負わない